



KubeCon



CloudNativeCon

North America 2024

# TRANSPARENCY REPORT

透明性レポート

## SALT LAKE CITY 2024



# ソルトレークで過ごした 素晴らしい1週間でした！！

雪に覆われた山々を背景に、そして実際に雪も降る中、9,000人を超える参加者がSalt Lake Cityで開催されたKubeCon + CloudNativeCon North America 2024にクラウドネイティブへのエネルギーと熱意を携えて集まりました。

目まぐるしい3日間でしたが、いくつかのイベントが際立っていました。まず、私たちは「Cloud Native Heroes Challenge」を開始し、特許トロールを阻止するチャンスをコミュニティに提供し、賞金や賞品を獲得する機会を提供しました。次に、プラットフォームエンジニアリング、分散AIシステム、Observerability（可観測性）など、多くの組織が成功事例を共有し、クラウドネイティブなコラボレーションの力が十分に発揮されました。最後に、私たちはAndelaと提携し、今後数年間で2万人から3万人のアフリカのテクノロジストを育成することになりました。参加者は、KubernetesとCloud Nativeのアソシエイト認定、またはCertified Kubernetes Application Developerの認定を無料で取得することができます。

Salt Lake Cityでは、特許トロールの追跡からプラットフォームエンジニアリング、スケールするクラウドネイティブのAI、セキュリティ、そしてもちろん、過去10年間にわたって築き上げてきた活気あるコミュニティの紹介まで、さまざまなトピックを取り上げました。KubeCon + CloudNativeCon North America 2024のハイライトを、私と同じように楽しんでいただければ幸いです。そして、2025年4月にロンドンで開催されるイベントも、今から楽しみにしています。



**Priyanka Sharma**  
General Manager, CNCF



**Kelsey Hightower**  
@kelseyhightower.com

+ Follow

I'm heading to KubeCon, which is like a family reunion for me. The tech is cool, but the people are extra dope.

November 11, 2024 at 12:02 PM Everybody can reply



**Troy Connor**  
@troy0820.dev

+ Follow

#KubeCon Contributor Summit always delivers. I always leave motivated and remember how awesome this community is.

November 11, 2024 at 11:15 PM Everybody can reply



**50.29%**  
初めての参加者



**1,937**  
CFPへの応募



**345**  
参加者への奨学金



**5,961**  
メディアによる報道



# 参加者 概要

オープンソース コミュニティがSiliocon Slopesを訪れたのは初めての  
ことだったかもしれませんが、KubeCon + CloudNativeConはまさにホーム  
のような雰囲気でした。

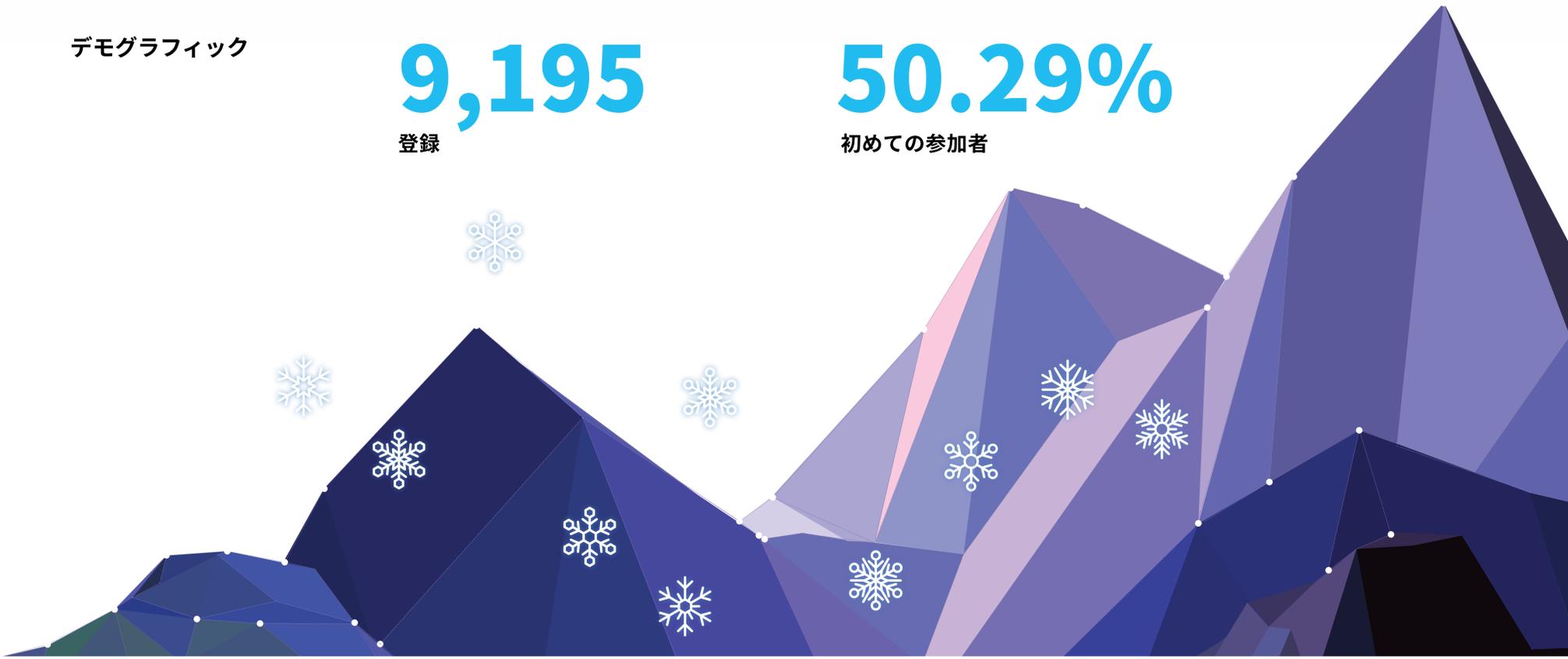
## デモグラフィック

9,195

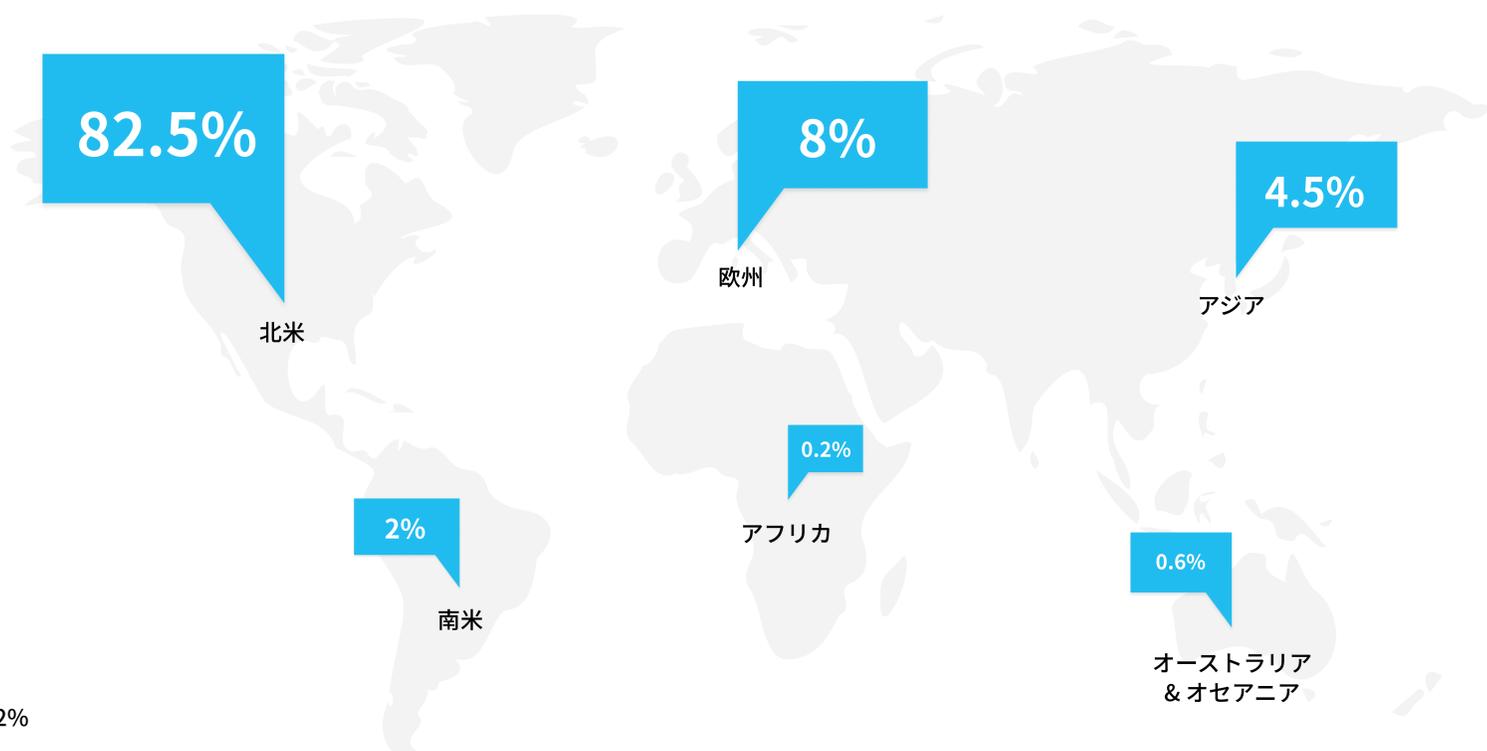
登録

50.29%

初めての参加者



## 参加者分布



回答なし：2.2%



### 上位参加国

 USA  
**7,248**

 カナダ  
**369**

 英国  
**154**

 ドイツ  
**146**

 Israel  
**125**

 インド  
**92**

 日本  
**91**

 ブラジル  
**69**

 France  
**54**

 韓国  
**49**

### 職種トップ3

DEVOPS/SRE/SYSADMIN

**2,377**

デベロッパー

**1,710**

アーキテクト

**1,477**

参加者の職種	%
アーキテクト	16%
Business Operations	2%
デベロッパー	19%
- データサイエンティスト	4%
- フルスタックデベロッパー	81%
- 機械学習専門家	5%
- Web デベロッパー	9%
- モバイルデベロッパー	0%
DevOps / SRE / SysAdmin	26%
役員	8%
IT オペレーション	2%
- DevOps	39%
- システム管理	46%
- Site Reliability Engineer	14%
- 品質保証エンジニア	1%
セールス/ マーケティング	12%
メディア/ アナリスト	1%
学生	2%
Product Manager	5%
専門家/ アカデミック	1%
その他	8%
合計	100%

チケットタイプ	2016 Seattle	2017 Austin	2018 Seattle	2019 San Diego	2020 Virtual	2021 Los Angeles	2022 Detroit	2023 Chicago	2024 Salt Lake City
合計	1,139	4,212	8,000	11,981+	22,816+	23,164+	16,986	13,666	9,195
対面参加企業	38%	64%	68%	67%	N/A	5%	2,853	4,183	4,146
対面参加個人	23%	7%	6%	9%	N/A	1%	636	994	1,082
バーチャルオールアクセスパス	N/A	N/A	N/A	N/A	67%	68%	8,045	3,840	N/A
バーチャル基調講演	N/A	N/A	N/A	N/A	14%	18%	732	807	823
講演者	11%	6%	5%	5%	2%	1%	504	744	879
スポンサー	17%	16%	17%	15%	17%	7%	3,577	2,584	2,502
メディア	3%	1%	1%	1%	1%	>1%	153	158	136
教育機関	N/A	2%	2%	3%	N/A	>1%	167	319	292

## 多様性、公平性、包摂

CNCFは、KubeCon + CloudNativeConに参加するすべての人々が、性別、性自認、性的指向、障害、人種、民族、年齢、宗教、経済状態に関わらず、歓迎されていると感じられるよう努めています。データのプライバシー保護の観点から、イベントの登録フォームから（任意の）参加者の属性に関する質問を削除しました。ただし、CFPと応募フォームでは、それぞれ講演者と奨学金申請者の属性を調査しています。

### DEI コミュニティハブ

Google Cloudがスポンサーを務めるDEIコミュニティハブを初めて開催しました。これは、多様性、公平性、インクルージョン、アクセシビリティについてつながり、学び、称えるための物理的なスペースです！ DEIハブは、コミュニティグループに参加したり、支援者や提唱者のワークショップに出席したり、オープンラウンジの時間帯に安全なスペースでリラックスしたりするのに最適な場所です。

KubeCon + CloudNativeConの来場者の内403名がDEIコミュニティハブスペースを楽しみました。

### DEI コミュニティ ハブ スポンサー



## スカラーシップ

### スカラーシップ

トラベルファンド スカラーシップ

合計

87

参加登録スカラーシップ

189

講演者へのスカラーシップ

69

### スポンサー



### DEI

合計

ダイバーシティ ランチの参加者数

100

EmpowerUsの参加者数

60

ピアグループ メンタリング+

8

キャリア ネットワーキングの対面型メンター数

ピアグループ メンタリング+

47

キャリア ネットワーキングの対面型対象者数

学生ミーティング参加者数

45

BIPOCの交流会参加者

30

LGBTQ+支援セッション参加者

32

LGBTQ+交流会

28

支援者ワークショップ

25

聴覚障害者支援セッション

36

手話集中講座

92

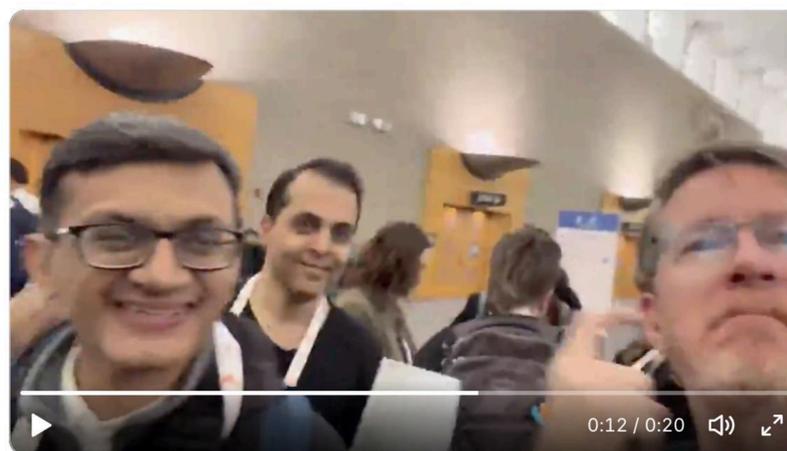
### ダイバーシティ ランチ スポンサー



Rob Koch  
@robcube.bsky.social

+ Follow

The deaf contingent so far at #KubeCon — come say hey! Talk about our Working Group, accessibility, or just feel out over Kubernetes. We have sign language interpreters so you'll have access to our voices!



November 12, 2024 at 11:47 AM 88 Everybody can reply

# 併催 イベント

今年、CNCFはプラットフォーム エンジニアリングからオブザーバビリティ、AI、スタートアップ戦略、CNCFプロジェクトまで、さまざまなトピックに関する16の併催イベントを開催しました。

CNCFがホストする16の併催イベント

6,557

会場における総リード数  
(NORTH AMERICA 2023から55%増加)

205

スポンサーの平均リード数  
(NORTH AMERICA 2023から16%増加)



5,032

併催イベントの登録者数

## レポート



終日、1トラック

スポンサー

ダイヤモンド	プラチナ
Heroku	Dagger
	Diagrid

参加者数

セッション平均	ピークセッション
96	219



終日、2トラック

スポンサー

ダイヤモンド	プラチナ	セッション レコーディング
Akuity	Harness	Pipekit
Codefresh by Octopus Deploy	Red Hat	
Intuit		

参加者数

セッション平均	ピークセッション
234	636



終日、1トラック

スポンサー

ダイヤモンド	プラチナ
Red Hat	Coder
Spotify	Cortex
	Harness
	Roadie
	Port

参加者数

セッション平均	ピークセッション
126	166

レポート (つづき)



終日、1トラック

スポンサー

ダイヤモンド

Isovalent (now part of Cisco)

参加者数

セッション平均

**122**

ピークセッション

**263**



終日、1トラック

ダイヤモンド プラチナ ゴールド

GMI Cloud Sysdig CoreWeave  
Red Hat

セッションレコーディング

Jetify

参加者数

セッション平均

**201**

ピークセッション

**390**



半日、1トラック

参加者数

セッション平均

**91**

ピークセッション

**121**



半日、1トラック

ATTENDANCE

セッション平均

**31**

ピークセッション

**41**



半日、1トラック

スポンサー

ゴールド

Percona

参加者数

セッション平均

**90**

ピークセッション

**130**



終日、1トラック

スポンサー

ダイヤモンド プラチナ

Chronosphere honeycomb.io  
IBM Kloudfuse  
OpenSearch

ゴールド スタートアップ

Grafana Labs Okahu  
Mezmo

セッションレコーディング

Chronosphere

参加者数

セッション平均

**208**

ピークセッション

**295**



終日、1トラック

スポンサー

ゴールド

Google Cloud  
Microsoft Azure

参加者数

セッション平均

**190**

ピークセッション

**296**



半日、1トラック

スポンサー

ダイヤモンド プラチナ

Octopus Deploy ZEEDA  
Spectro Cloud  
SUSE

参加者数

セッション平均

**152**

ピークセッション

**215**

私の開発者の心を喜ばせるコミュニティがいくつかあります。  
その1つが #KubeCon です。

今年は参加しませんが、すべての講演を楽しみにしています。

私たち @fimioxyz は k8s を完全に受け入れており、k8s を基盤として構築できることを嬉しく思っています。

Omoju Miller  
via X

## レポート (つづき)



半日、1トラック

参加者数

セッション平均

**32**

ピークセッション

**42**



半日、1トラック

スポンサー

プラチナ

Harness  
Massdriver

ゴールド

env0  
Spacelift



終日、1トラック

スポンサー

ダイヤモンド

IBM  
Loft Labs  
Northflank  
Vultr

プラチナ

Cortex  
Gitpod  
Port  
Syntasso

ゴールド

Rafay



半日、1トラック

スポンサー

プラチナ

Automattic  
Midokura

ゴールド

Cloud Native  
Computing  
Foundation  
Cosmonic  
Fastly  
Microsoft

コミュニティ  
パートナー

Bytecode  
Alliance

参加者数

デモグラフィック データ レポート

[events.linuxfoundation.org/wasmcon-24-post-event-report](https://events.linuxfoundation.org/wasmcon-24-post-event-report)

参加者数

セッション平均

**124**

ピークセッション

**209**

参加者数

セッション平均

**222**

ピークセッション

**300**

# コンテンツ

素晴らしいコンテンツがたくさんあり、参加者はどれを選ぶか迷ったと話していました。スポンサーによる基調講演を含め、基調講演は全部で25件、CFPによる分科会は218件、メンテナーによるセッションは87件でした。

## 主な統計

25

基調講演  
(スポンサー基調講演を含む)

218

ブレイクアウト

87

メンテナーセッション

## キャプションの利用

387 時間

参加者のモバイル端末で「Wordly」を室内で使用。

上位 5 言語

英語、日本語、韓国語、トルコ語、ポルトガル語

アメリカ手話 (ASL) 通訳者

CNCFは、聴覚障害のある参加者がカンファレンス期間中350時間以上利用できるよう、9名のアメリカ手話 (ASL) 通訳者を配置しました。また、基調講演のASL通訳は、毎日スクリーンにも表示されました。

KubeCon + CloudNativeConの素晴らしい共同議長を務めてくださったAdobeのJoseph Sandoval氏、VMwareのNikhita Raghunath氏、LunarのKasper Nissen氏に感謝いたします。



**Kasper Borg Nissen**

Lunar  
Staff Engineer



**Nikhita Raghunath**

VMware  
Staff Software Engineer



**Joseph Sandoval**

Adobe  
Principal Product Manager

# コンテンツ概要

私たちのカンファレンスは、ハードワークを惜しまない共同議長の Joseph Sandoval氏、Nikhita Raghunath氏、Kasper Borg Nissen氏によって運営され、128名のプログラムコミッティメンバーと93名のトラックチェアと緊密に連携しました。講演は、プログラムコミッティが厳格かつ公平なプロセスで選定しました。応募は、各専門分野のプログラムコミッティがランダムに割り当てられ、審査されました。応募の採択率は11%でした



## 主な統計



1,937

CFP 応募数



617

講演者



15%

ジェンダーマイノリティの  
基調講演者



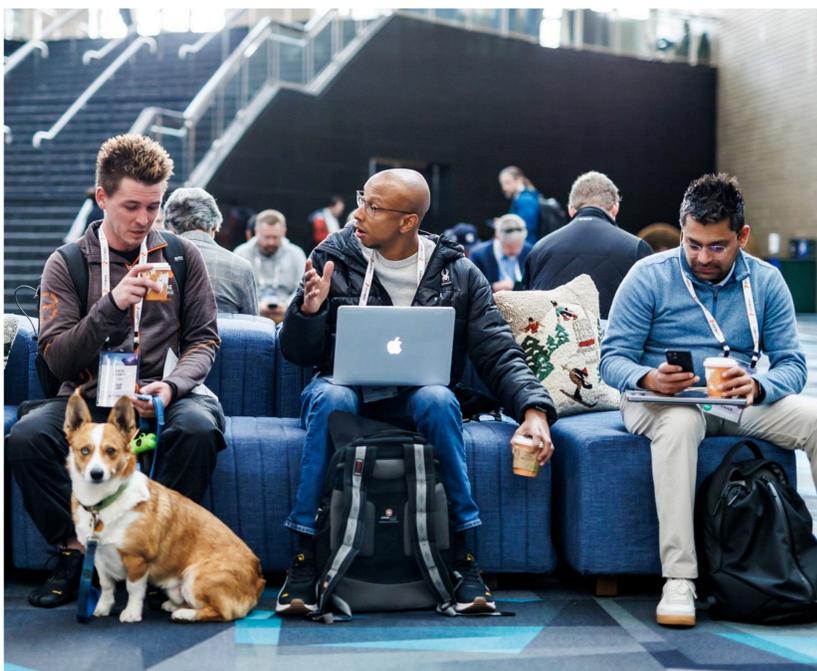
128

プログラムコミッティ  
メンバー



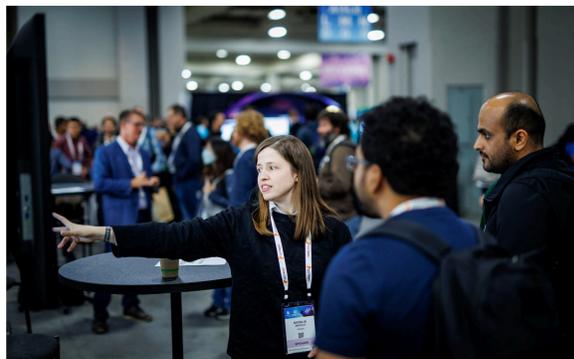
9.2/10

セッションの  
評価



## ポスターセッション

ポスターセッションでは、参加者は最新の研究、斬新なソリューション、革新的なアイデアを、多様な研究者や業界の専門家から披露し、フィードバックを得るというユニークな機会を得ることができました。ポスターはソリューションショーケースに展示されたデジタル形式で発表されました。参加者はポスターエリアを歩き回り、ポスター発表者と交流し、質問をしたり、議論を交わしたりすることができました。発表者はポスターのそばに立ち、説明を行い、質問に答え、自身の研究に関心のある人々と会話を行いました。このイベントは大変好評を博したため、2025年にロンドンで開催されるKubeCon + CloudNativeCon Europeではポスターの数を倍増する予定です。

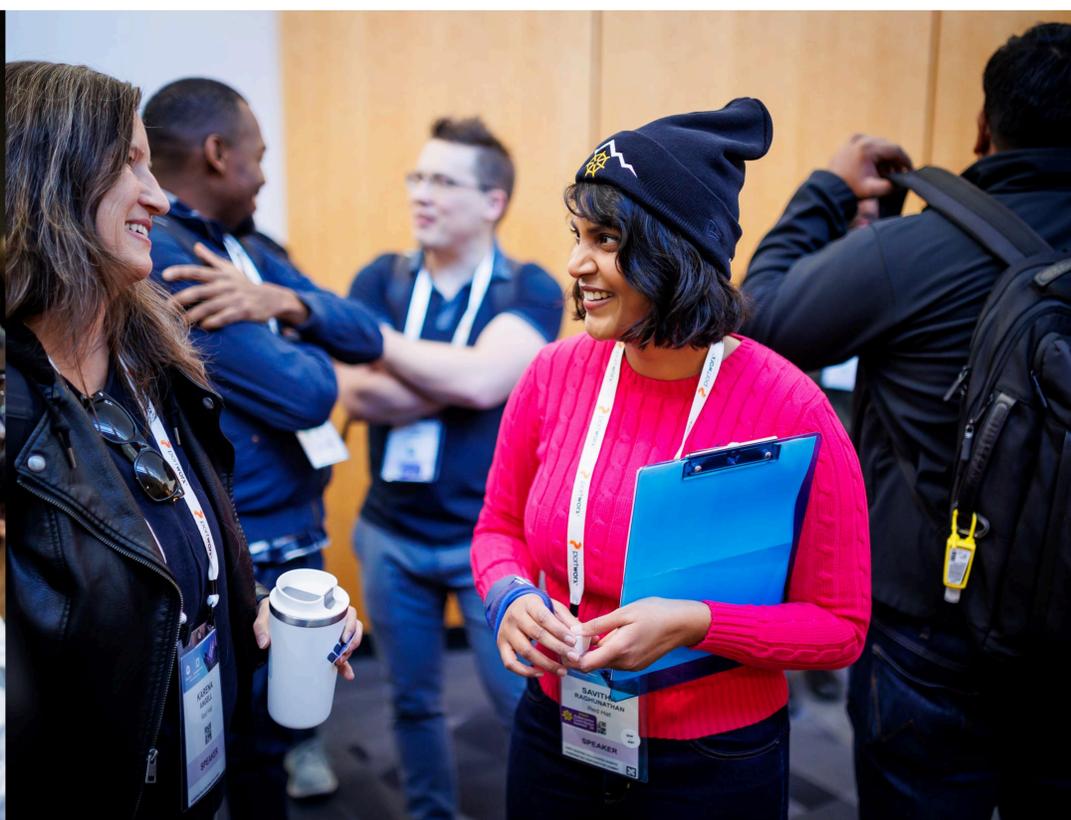
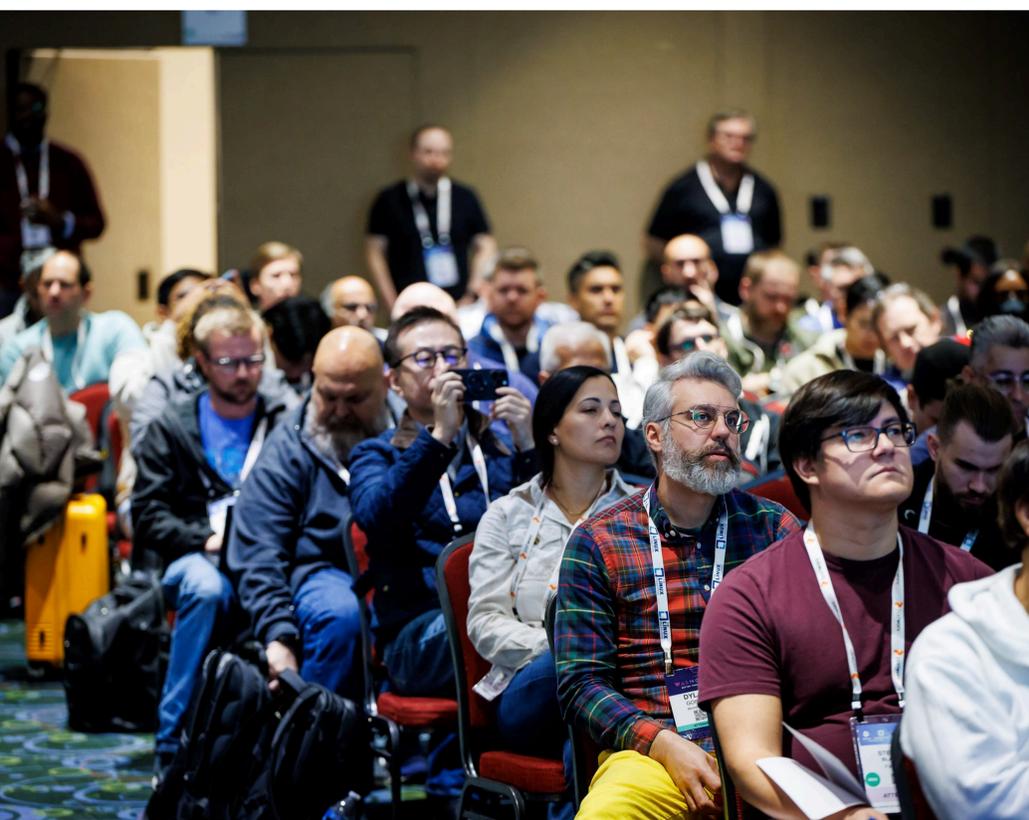
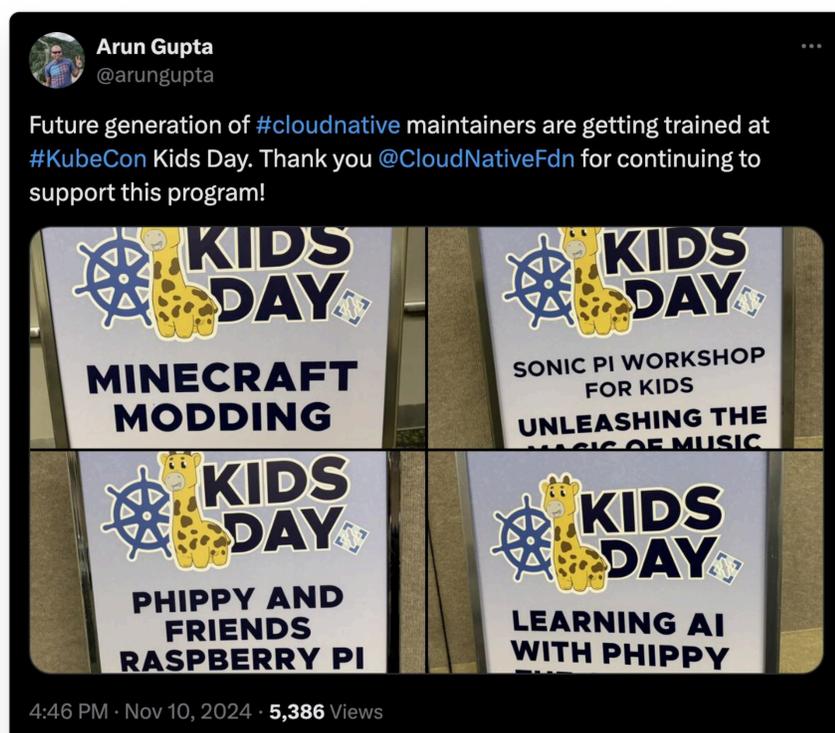


# KIDS DAY

11月10日（日）、27名の参加者を迎えて、コミュニティのKIDS DAYを開催しました。

テクノロジーとイノベーションの世界に若い世代の心を惹きつけることを目的としたKIDS DAYでは、8歳から14歳のお子様を対象としたインタラクティブなアクティビティやワークショップが開催され、楽しい一日を過ごすことができました。開催されたワークショップには以下のようなものがありました。

1. キリンのPhippyとAIを学ぶ
2. Minecraftの改造
3. Phippyと仲間たち Raspberry Pi動物園レスキュー
4. Sonic Pi 子供向けワークショップ - コードを通じて音楽の魔法を解き放つ



# サステナビリティ

私たちはイベントのサステナビリティに尽力しており、KubeCon + CloudNativeCon North Americaも例外ではありませんでした。

会場であるSalt Palace Convention Centerと、その提携企業は、埋め立て廃棄物削減プログラムに参加し、環境に配慮した政策に関するデータの追跡と収集を行い、70%の廃棄物削減という目標に向かって取り組んでいます。環境に対する責任という基本理念を実践するために、以下の注目すべきサステナビリティへの取り組みを実施しています。

- 太陽光発電
- LEED認証と持続可能な取り組み
- ペーパーレス イベント プロセス
- リサイクルと再利用プログラム

環境に配慮した会場を選択することに加え、以下を実施しました。

- 100%リサイクル ポリエチレン テレフタレート製の会議用ストラップを使用。ストラップの sponsor である Portworx は、残りのストラップをすべて回収し、今後のイベントで使用します。
- 公共交通機関、徒歩、自転車で簡単にアクセスできる場所を会場として選びました。
- 地元の団体に1,700ポンドの食料を寄付しました。
- 3.75トンの段ボールをリサイクルしました。
- 屋上のソーラーパネルで39,000kWhの電力を発電し、約28メートルトンのCO2を相殺しました。



## 現場における健康・安全

KubeCon + CloudNativeConは、以下の健康・安全対策を実施しました。



安全付き添い  
プログラム



会場全体にハンド サニタイザー  
(手指消毒剤) を設置



食物アレルギーへの対応



講演者の使用ごとに  
マイクを消毒

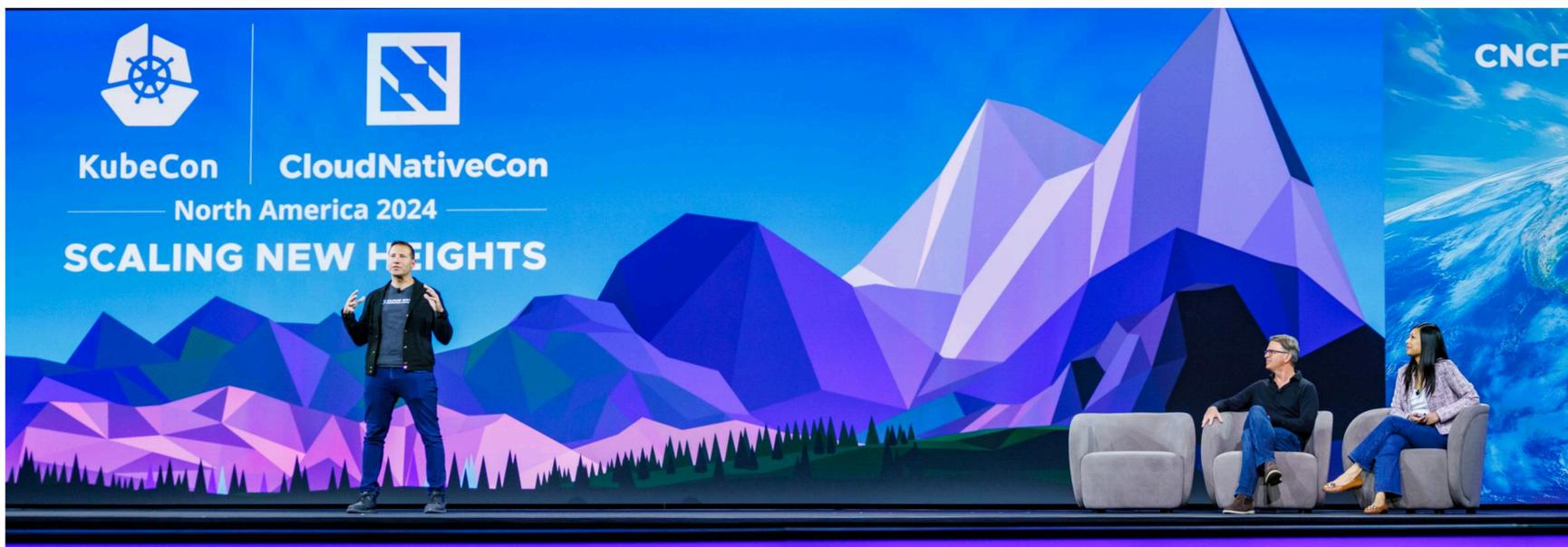


Salt Lake Cityのダウンタウン  
ストリート アンバサダーの活用

インシデントの透明性に関する報告書：

- 軽微な医療行為 4回

# メディア&アナリストの 報道



## オンライン リーチ+トラフィック



**483k+**

ソーシャル インプレッション



**Almost 20k**

ソーシャル エンゲージメント



**21k+**

イベントのセッションの表示数

## メディア+ アナリストの結果



**136**

メディアやアナリストによる報道



**3,184**

記事/投稿/プレスリリース



**56**

CNCFニュースパッケージに  
貢献したメンバー/スポンサー



**79**

メディアパートナーシップ  
によるショー前の記事

## 報道ハイライト



## メディア報道のハイライト

「今回の KubeCon では、特にコラボレーションのエネルギーが印象的でした。また、従来は競合関係にあったベンダーの開発者たちが深い洞察を共有するセッションも印象的でした。公式発表では参加者は1万人弱でしたが、会場の廊下や展示会場での活気や会話の盛り上がりは、パンデミック前の興奮レベルを最終的に上回ったかもしれませぬ。」 - [Jason English, SiliconANGLE](#)

「KubeCon + CloudNativeCon North Americaに参加することは、「AIツールを立ち上げたばかりだ」という誇大広告の先にあるものを見極め、クラウドネイティブなソフトウェアアプリケーション開発を推進する真の要因を見出す機会となります。もし一言で表現するとしたら（オープンソースという用語は当然省きますが）、クラウドネイティブの進化は、AIエージェント、AIオーケストレーション、セキュリティ管理、パテントトロールの根絶、開発者認定、プラットフォームエンジニアリングの高度化といったさまざまな力が組み合わさって推進されているのです。」 - [Adrian Bridgwater, Techzine](#)

「Kubernetesのようなオープンソースプロジェクトを利用する企業は、パテントトロールの標的になることが多くなっています。今、オープンソースコミュニティは反撃を開始し、ボランティアを募集しています。」 - [Steven Vaughn Nichols, ZDNet](#)

## 記事のハイライト：

- ComputerWeekly: [I guess the training's down in Africa, CNCF & Andela skill-up 20,000+ IT pros](#)
- The New Stack: [CNCF Sics Developers on Kubernetes Patent Trolls](#)
- Cloud Native Now: [CNCF Graduates Dapr to Help Improve Developer Productivity](#)
- Runtime: [The CNCF's plan to crowdfight patent trolls](#)

## アナリストによる報道のハイライト

「Kubernetes の高度な機能や可観測性ツールからクラウド ガバナンスや AI 最適化まで、トピックの多様性は、クラウドネイティブエコシステムの広さと深さを浮き彫りにしました。状況が進化し続ける中、クラウドネイティブテクノロジーをよりアクセスしやすく、効率的で、持続可能なものにするに焦点が移っていることは明らかです。」 - [Paul Nashawaty, Principal Analyst, Efficiently Connected](#)

「Kubernetesは10年以上の歴史があり、今まさに本番環境での利用に適した状態にあります。プライムタイムとは、この場合、企業がKubernetesエコシステムにAIのワークロードやアプリケーションをシンプルかつ安全に、コンプライアンスを順守しながら拡張性をもって処理できることを期待していることを意味します。Salt Lake Cityで開催されるKubeCon 2024では、Kubernetesを中核とするCNCFのクラウドネイティブアプリケーションのポートフォリオがこの課題に挑む準備ができていることを証明することに焦点を絞ります。」 - [Torsten Volk, Principal Analyst, ESG](#)

「開発者、エンジニア、あるいは今後5年間にAIが牽引するアプリケーションのスケラビリティとパフォーマンスの曲線に遅れずについていくことを目指す新進気鋭のベンダーであるかどうかに関わらず、私は、ご自身とご自身の会社がCNCFのプロジェクトに、貢献できるレベルであればどのようなレベルでも参加することをお勧めします。」

- [Jason English, Principal Analyst, Intellyx](#)

## 記事のハイライト：

- Efficiently Connected: [KubeCon + CloudNativeCon NA 2024: Navigating the Future of Cloud-Native Technologies](#)
- Futurium: [At Kubecon, CNCF Ramps Up Its Battle Against Patent Trolls](#)
- Intellyx: [At KubeCon/CloudNativeCon 2024, AI hype gives way to real application concerns](#)
- ESG: [KubeCon 2024: The Cloud Native Universe Is Evolving Around AI](#)

# スポンサー 情報

本当にありがとうございました！

ブーストラフィック	合計
オンサイト リード 合計	94,795
オンサイト リード 平均/ブース	378



前年比スポンサーシップ	2016 Seattle	2017 Austin	2018 Seattle	2019 San Diego	2020 Virtual	2021 Los Angeles	2022 Detroit	2023 Chicago	2024 Salt Lake City
ダイヤモンド	8	5	6*	6*	6*	6*	6*	7*	7*
プラチナ	3	17	20	35	8	20	28	27	19
ゴールド	10	23	20	19	21	26	32	34	37
シルバー	13	30	87	100	63	91	135	124	132
スタートアップ	N/A	30	50	73	38	76	94	81	67
エンドユーザー	N/A	N/A	5	10	2	7	6	2	3
マーケティング オポチュニティ	13	26	27	34	29	35	65	50	49
ユニーク合計	39	107	193	246	143	228	303	277	266

\* Capped Maximum

## ダイヤモンド スポンサー

Google Cloud

intel

Microsoft  
Azure

ORACLE

Red Hat

SOLO.IO

SUSE

プラチナ スポンサー



[すべてのスポンサーとパートナーを表示](#)

# THANK YOU

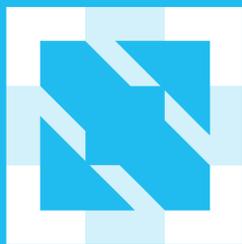
Salt Lake Cityでの素晴らしいイベントをお楽しみいただけましたか？  
ロンドンでお会いできることを楽しみにしています！

ご意見やご感想は、[events@cncf.io](mailto:events@cncf.io) までお寄せください。

[お近くの地域で開催されるイベントのカレンダー](#)をご確認ください。

2025年4月にロンドンで開催される[KubeCon + CloudNativeCon Europeへの登録](#)もお忘れなく。





# CLOUD NATIVE COMPUTING FOUNDATION

#### 本訳文について

この日本語文書は、[KubeCon + CloudNativeCon North America 2024 Transparency Report](#)の参考訳として、The Linux Foundation Japanが便宜上提供するものです。英語版と翻訳版の間で齟齬または矛盾がある場合（翻訳版の提供の遅滞による場合を含むがこれに限らない）、英語版が優先されます。

翻訳協力：吉田行男

---

私たちは、この素晴らしいイベントのあらゆる側面を正確に報告するために努力してきましたが、すべての素晴らしいイベントで状況が変化します（メディアの報道が増える、オンラインでの閲覧数が増えるなど）。そのため、このレポートのデータを使用する場合は、12月20日の発行日を必ず参照してください。また、ご質問がある場合や、翌年に最新の統計をご希望の場合は、お気軽にお問い合わせください。  
Cloud Native Computing Foundation 発行、2024年12月20日。